

お餅による窒息に注意！

お餅による窒息事故は、食べる機会が増える12月、特に1月に多く発生しています。東京消防庁管内では、平成27年から令和元年までの5年間に、お餅など（団子等も含みます）を喉に詰まらせて463人が救急搬送されています。そのうち、約9割が65歳以上の高齢者で、亡くなったケースもあります。

お餅は粘りがあり、くっつきやすく噛み切りにくい食べ物です。また高齢者や乳幼児は噛んで飲み込む力が弱いので、注意が必要です。年末年始を迎えるにあたり、事故防止のポイントや応急手当の方法を確認し、食べる際には気をつけましょう。



事故、ヒヤリ・ハット事例

- 雑煮を食べたところ、餅を喉に詰まらせてしまい、苦しそうにした後、倒れて意識を失った。
(80歳代、救急搬送事例(重篤))
- 祖母がお雑煮の餅でのどを詰まらせたが、落ち着かせてお茶をゆっくり飲むことで解消した。
(70歳代、ヒヤリ・ハット経験)
- 昼食時、きなこもちを一口で食べた父親がのどを詰まらせ、呼吸ができずに赤い顔で苦しんだ。妻が背中を強くたたいて難を逃れた。(70歳代、ヒヤリ・ハット経験)

※上記事例1番目は、東京消防庁 広報テーマ2020年12月号を参照

※上記事例2番目及び3番目は、東京暮らしWEB「年末年始の生活に潜むヒヤリ・ハット調査」(平成24年12月4日)を参照

事故を防ぐポイント

- お餅は小さく切るなど、食べやすい大きさにしましょう。
- 食べる前に、お茶や汁物を飲んで喉を潤しておきましょう。
- 少量ずつ口に入れ、よく噛んでから飲み込みましょう。
- 食事中は歩き回らない、横にならないようにしましょう。
- 一人で食事をする場合は、特に注意しましょう。高齢者や乳幼児と一緒に食事をする際は、適時食事の様子を見るなど注意を払いましょう。
- いざという時に備え、応急手当の方法をよく理解しておきましょう。

◎参考

- ① 《年末年始の生活に潜むヒヤリ・ハット調査》東京暮らしWEB(平成24年12月4日)
<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anken/hiyarihat/nenmatsu.html>
- ② 《年末年始の救急事故をなくそう 餅による窒息事故に注意》(広報テーマ2020年12月号)東京消防庁
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2020/202012/camp2.html#camp2-an03>
- ③ 《みんなで防ごう高齢者の事故》消費者庁(令和元年12月18日)
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_009/pdf/consumer_safety_cm_s204_191218_01.pdf

その他の危害危険情報はこちら。

 東京暮らしWEB 

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anken/kigai.html>



問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

電話 03-5388-3082

物を喉に詰まらせた人への応急手当の方法



チョークサインを出しているとき、声を出せないとき、顔色が急に真っ青になったときなどは、食べ物などにより気道が塞がれていることが疑われます。

※チョークサイン・・・窒息を起こし、呼吸ができなくなったことを他の人に知らせる世界共通のサイン

そのようなときは大きな声で助けを呼び、119番通報とAEDの搬送を依頼し、直ちに気道異物除去を始めます。

呼びかけて反応があれば・・・

- 1 まず咳をすることが可能であれば、できる限り咳をさせます。
- 2 咳もできずに窒息しているときは、背部叩打法（はいぶこうだほう）を行きましょう。

背部叩打法の実施手順

- 1 胸もしくは下あごを支えて突き出し、あごを反らせます。
傷病者が倒れている場合は、傷病者を手前に引き起こして横向きに寝かせ、自分の足で傷病者の胸を支えます。片手で傷病者顔を支えます。
- 2 もう片方の手のひらの付け根で、傷病者の肩甲骨と肩甲骨の間を強く4～5回、迅速に叩きます。
- 3 回数にとらわれず、異物が取れるか、反応がなくなるまで続けます。

成人・小児の例



乳児の例



呼びかけに反応がない場合又は、反応がなくなった場合は・・・

ただちに心肺蘇生[※]を開始してください。

(東京消防庁 広報テーマ2020年12月号 より抜粋)

※心肺蘇生については、東京消防庁の以下のURLからご覧いただけます。

《心肺蘇生等の応急手当》(広報テーマ2020年4月号)東京消防庁

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2020/202004/camp2.html>